

原単位の改善のための取組に関する状況【2024年度提出分(2023年度実績)】※非特定事業者用

東洋ケミカル株式会社  
(TOYO CHEMICAL CORPORATION)

銘柄コード  
法人番号 7300001007263

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	18	プラスチック製品製造業
細分類 (申請事業)	1852	廃プラスチック製品製造業
エネルギー管理統括者	【役職】 代表取締役 【氏名】 平田 英俊	

エネルギー総使用量	17,133	GJ	442	kQ
前年度エネルギー総使用量				
非化石エネルギー総使用量				
調整後温室効果ガス排出量				t-CO <sub>2</sub>

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業におけるエネルギー消費原単位※注 (2023年度実績)	原単位分母				
	主たる事業の構成割合 %				
事業者全体のエネルギー消費原単位 対前年度比	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
事業者全体の5年度間平均原単位変化(%)					

※主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方にに基づき各事業者が決定したものである。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における電気需要最適化評価原単位 (2023年度実績)	原単位分母				
	DR実施日数				
事業者全体の電気需要最適化評価原単位 対前年度比	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
事業者全体の5年度間平均原単位変化					

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分		
目指すべき水準	kQ/t以下	
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準	kQ/t以下	
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】

種別	合計量		
	t-CO <sub>2</sub>		
-	-		
-	-		
-	-		

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	35.0%				
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					30.4
目安設定業種					
目安(2030年度)					
目標(2030年度)					
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目安設定業種	-				
目安(2030年度)	-				
目標(2030年度)	-				
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					-

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

--

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

<p>1. エネルギーの使用の合理化に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各事業所ごとに省エネ意識(不要な照明設備の消灯および不要な電気機器の電源断等)の向上に取り組んでいます。</li> <li>生産ライン集約に伴う稼働率向上(エネルギーロスの削減)に向けた改善計画を検討中です。</li> <li>空調設備の一部更新を実施し、空調効率を改善しました。</li> <li>照明のLED化に取り組んでおり、第2工場はLEDに完全移行済みです。第1工場も、一部移行済みであり、今後福岡工場も含めて取り組みを進めて行く予定です。</li> </ul> <p>2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2024年7月より電気事業者から提供される非化石電力メニューの導入を開始しました。引き続き非化石比率向上への取り組みを継続して行きます。</li> </ul>
--

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

<p>1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)</p>
<p>2. 関連リンク</p>

(注意事項)

- 赤枠囲み欄は必須記載です。
- 再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。